

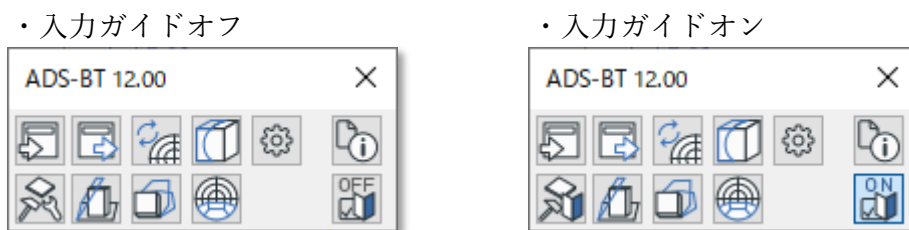
ADS-BT for ARCHICAD Ver12 追加修正項目

ADS-BT for ARCHICAD Ver12 (Archicad25 対応版) (以下、本システムといいます) における追加修正項目は以下の通りです。

入力ガイド

■入力ガイド

○入力ガイド機能を追加しました。メインパレットより、オン/オフを切り替えます。



○本システムの操作が初めての方や不慣れな方でも安心して設定することができます。

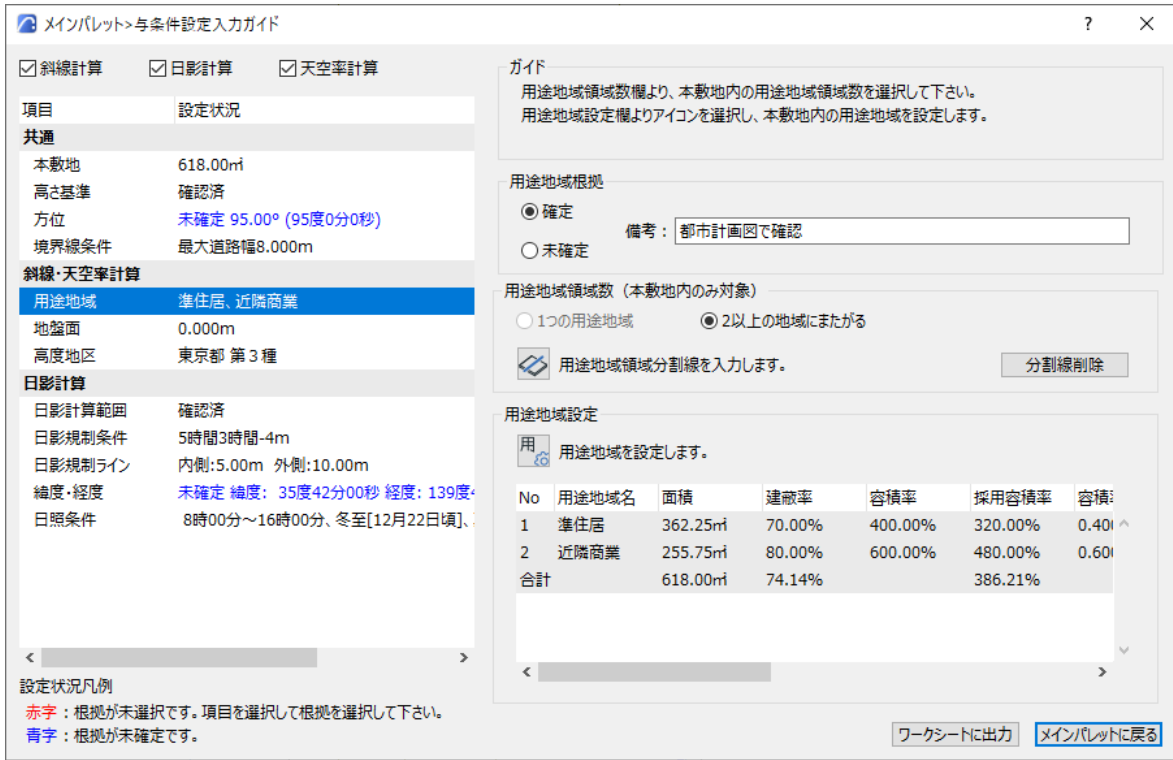
○Ver12 では与条件設定が対応しています。

■与条件設定入力ガイド

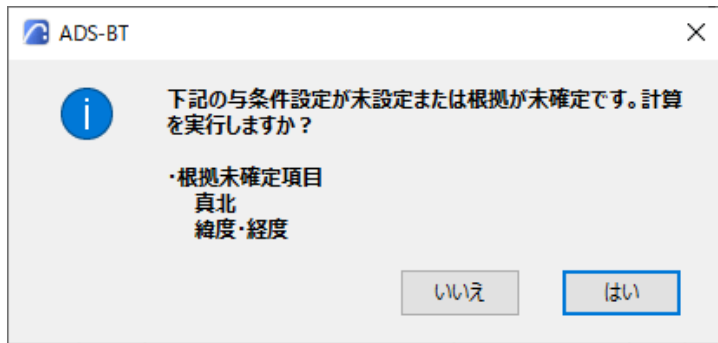
○与条件設定の入力をガイドします。選択した与条件設定項目に応じて、操作手順や設定項目の説明を表示します。

○本システムでの計算対象を選択し、選択した計算対象に必要な設定項目を設定します。

○設定項目の根拠を選択できます。設定内容が確定しているのか未確定なのかを設定状況より確認することができます。



○入力ガイドがオンで根拠が未確定の設定項目がある場合に、メインパレットより各種計算を選択すると、未確定の設定項目がある旨の確認メッセージを表示します。



与条件設定

■サブパレット

- サブパレットのコマンドをワークフローに合わせた順番に変更しました。サブパレットのコマンドを左から右に操作を進めることで、与条件設定が完了します。



- 「方位」コマンドをサブパレットに追加しました。

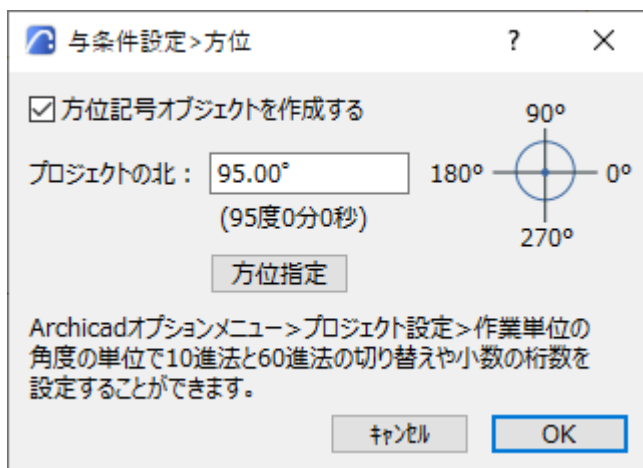


- 「その他計算条件」コマンドの名称を「日影計算条件」コマンドに変更しました。



■方位

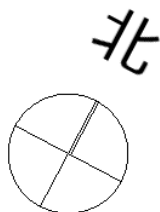
- 「方位」ダイアログを追加しました。



○数値入力または方位指定で方位を設定します。

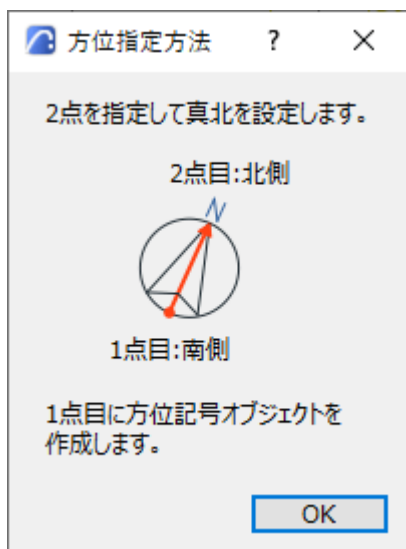
※数値指定の入力単位は Archicad オプションメニュー>プロジェクト設定>作業単位の「角度の単位」の設定が反映されます。

○方位記号オブジェクトの作成を選択できます。



※方位記号オブジェクトは Archicad 標準ライブラリオブジェクトの「方位記号」で作成します。当該オブジェクトが存在しない場合、方位記号オブジェクトは作成されません。

○方位指定時に 2 点指定の順番を明記しました。



■用途地域

○計算対象高さ制限欄の表示を変更しました。

○法第56条第4項の後退距離緩和の適用の選択を追加しました。

与条件設定 > 領域条件

用途地域 高度地区 地盤面 日影規制

用途地域: 準住居

容積率低減係数: 0.40

建蔽率: 70 %

道路斜線勾配: 1.25

容積率: 400 %

隣地斜線勾配: 1.25

隣地斜線高さ: 20.00 m

計算対象高さ制限

道路斜線 隣地斜線 北側斜線 絶対高さ

法第56条第4項の後退距離緩和を適用する
(法第56条第3項が適用される場合のみ)

■地盤面

○Archicad の高度 0m との関係性を明記しました。

与条件設定 > 領域条件

用途地域 高度地区 地盤面 日影規制

高度0mからの地盤面高: 0.00 m
(令第2条第2項)

Archicadの高度0m

■ 日影規制

○Archicad の高度 0m と平均地盤面高との関係を明記しました。



■ 日影計算条件

○名称を「その他計算条件」から変更しました。

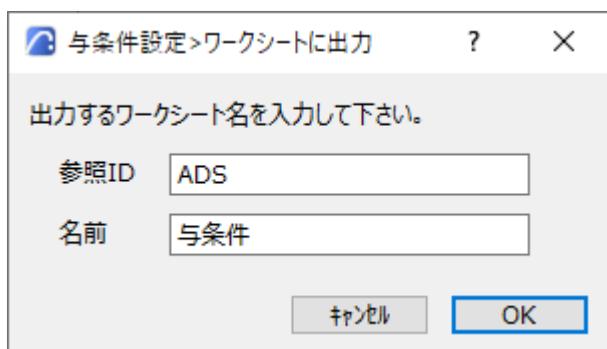
○「方位」タブを削除し、サブパレットからの設定に変更しました。

○「後退距離緩和」タブを削除し、用途地域からの設定に変更しました。

■ ワークシートに出力

○「ワークシートに出力」ダイアログを追加しました。

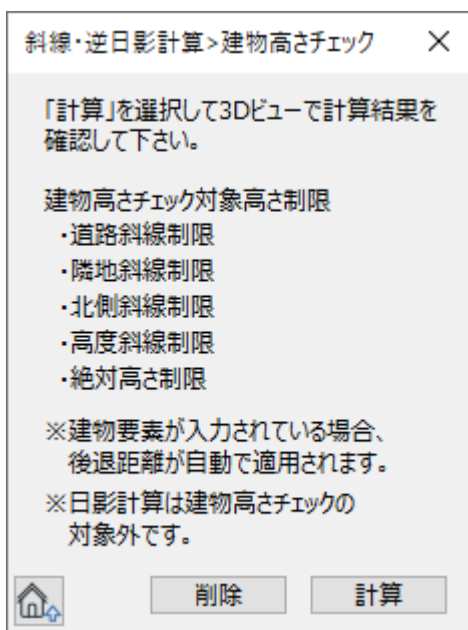
○出力するワークシートの「参照 ID」及び「名前」の設定ができるようになりました。



斜線・逆日影計算

■ 建物高さチェック

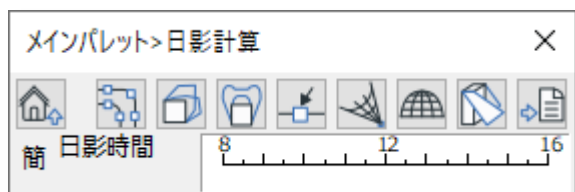
- 計算ピッチ欄を削除しました。
- 建物高さチェックの計算条件を明記しました。



日影計算

■サブパレット

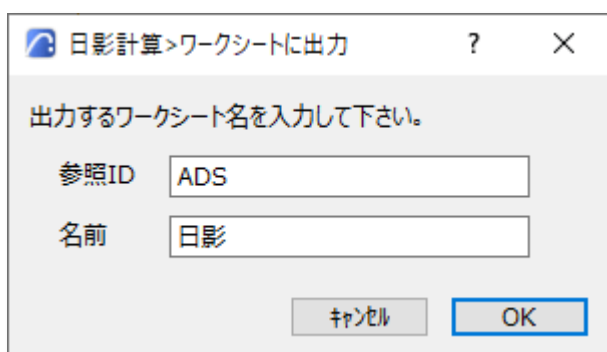
○サブパレットのコマンドをワークフローに合わせた順番に変更しました。



■ワークシートに出力

○「ワークシートに出力」ダイアログを追加しました。

○出力するワークシートの「参照 ID」及び「名前」の設定ができるようになりました。



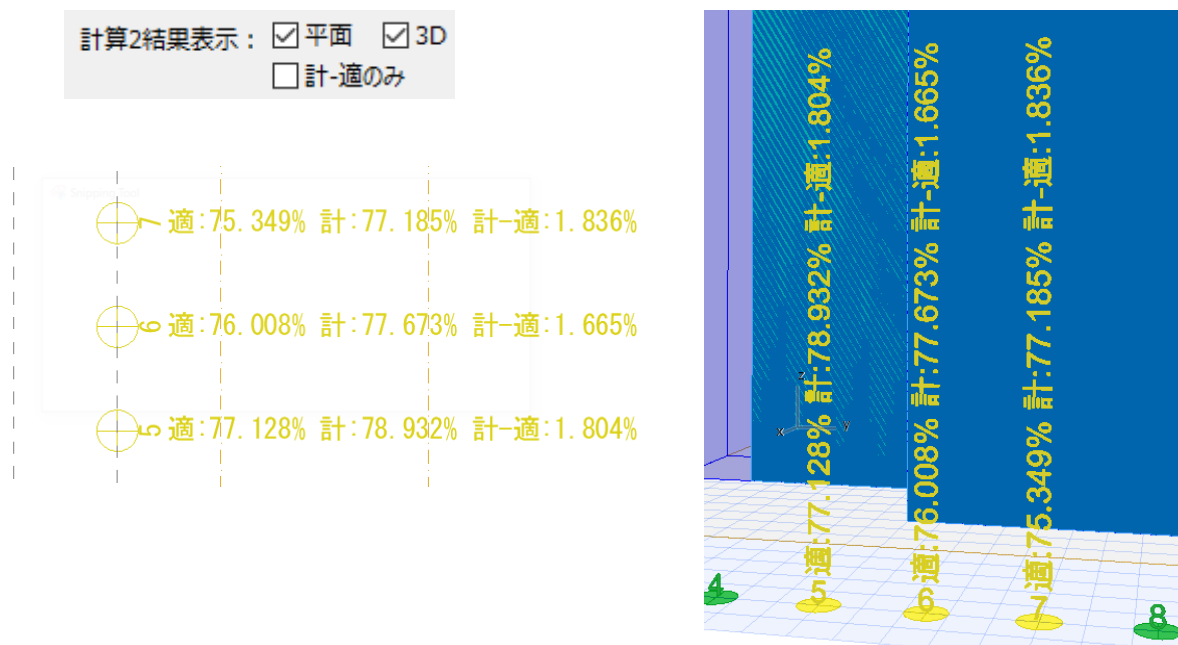
天空率計算

■ 測定点

○測定点半径、フォント、計算結果の平面及び3D表示、計算結果ごとのペン番号の設定ができるようになりました。メインパレット>環境設定>天空率図形タブより設定します。

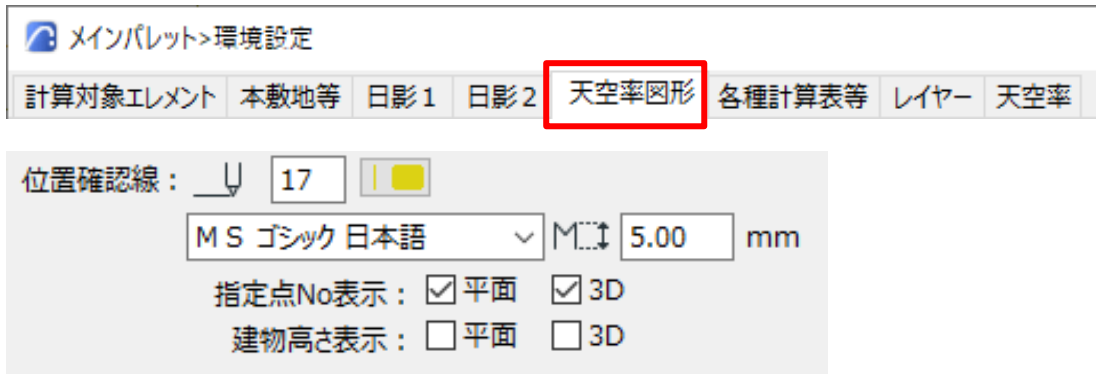


○計算結果の平面及び3D表示を有効にすると、測定点に計算2（求積計算）の結果を表示します。デフォルト設定は非表示になっています。

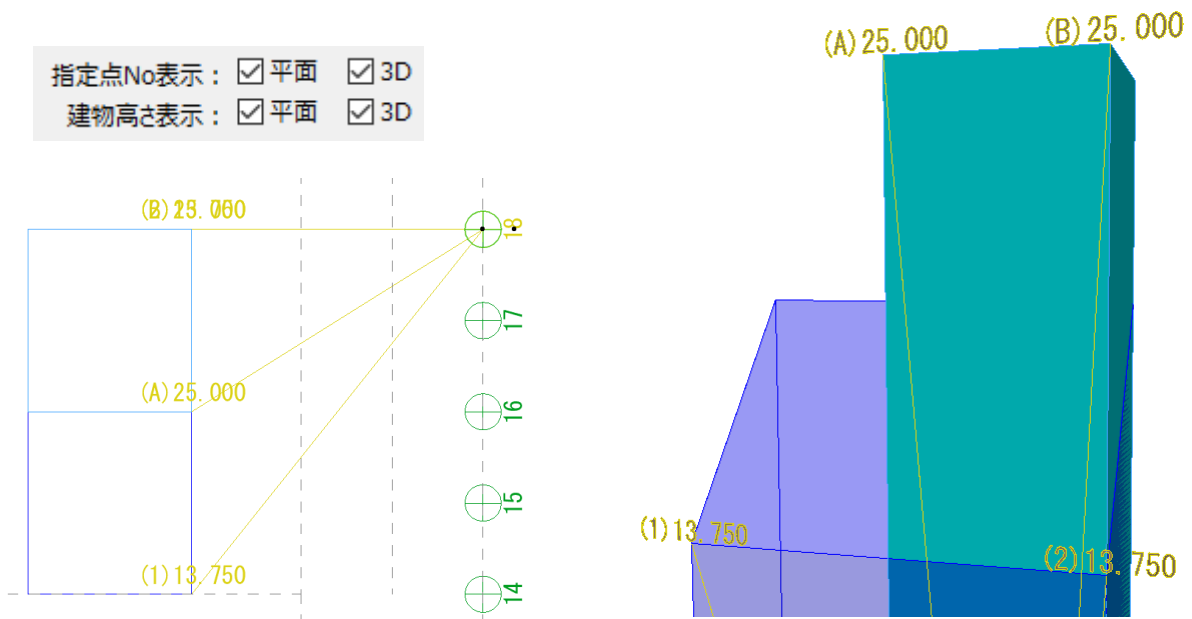


■位置確認線

○ペン番号、フォント、位置確認指定点 No 及び建物高さの平面及び 3D 表示の設定ができるようになりました。メインパレット>環境設定>天空率図形タブより設定します。



○位置確認指定点 No 及び建物高さの平面及び 3D 表示を有効にすると、位置確認指定点 No 及び測定点からの建物高さを表示します。デフォルト設定は指定点 No の 2D のみ表示になっています。



■ワークシートに出力

- 「ワークシートに出力」ダイアログを追加しました。
- 天空率領域リスト及び天空図の出力するワークシートの「参照 ID」及び「名前」の設定ができるようになりました。

天空率計算>ワークシートに出力

出力するワークシート名を入力して下さい。

天空率領域リスト

ADS 天空率領域リスト 道路 領域No1

参照ID

名前

斜線種別を追加する
 前方 後方

領域Noを追加する
 前方 後方

天空図を重ねて出力する

天空図

ADS 天空図 道路 測定点No1

参照ID

名前

斜線種別を追加する
 前方 後方

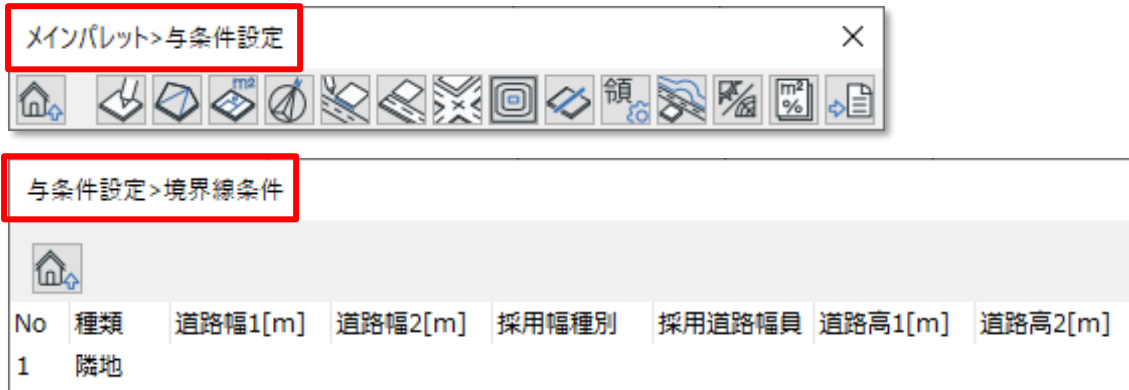
測定点Noを追加する
 前方 後方

キャンセル OK

その他

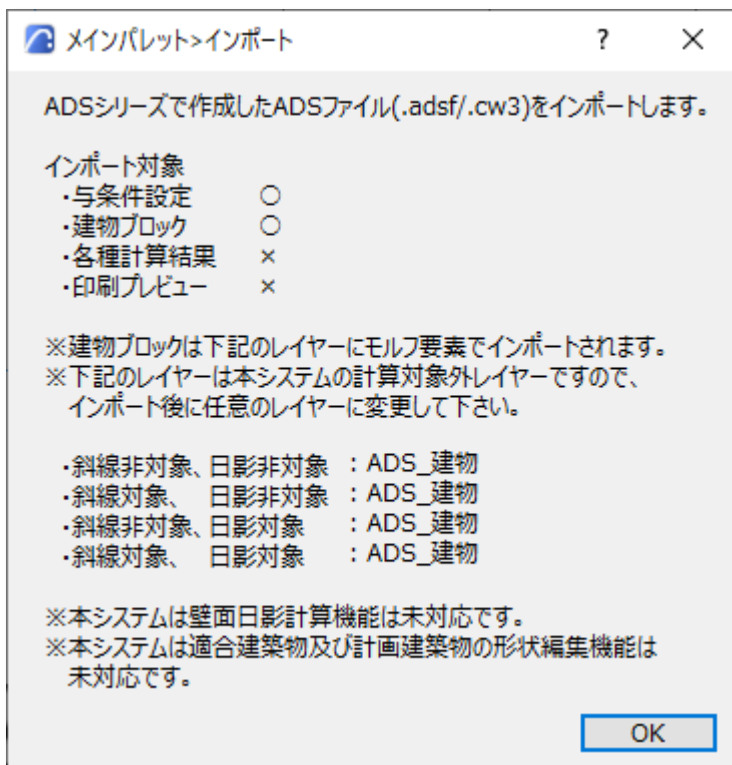
■ パレット、ダイアログの階層表示

○サブパレット及びサブパレットの一階層下のパレット又はダイアログのタイトルを階層表示にしました。



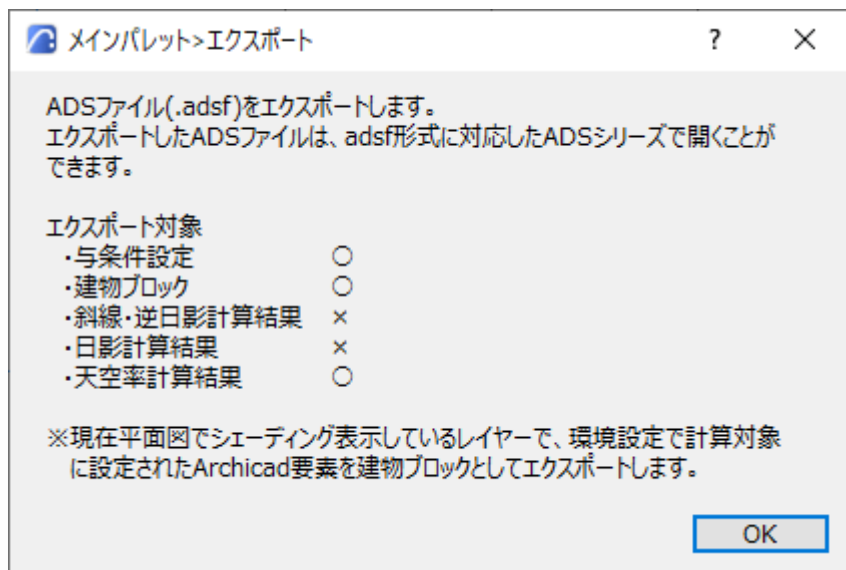
■ インポートの確認事項表示

○インポート選択時にインポートに関する確認ダイアログを追加しました。



■ エクスポートの確認事項表示

○ エクスポート選択時にエクスポートに関する確認ダイアログを追加しました。



以上。